

人事委員会事務局決算の概要

1 決算総括

中立的で独立した人事行政の専門機関として、職員採用試験や勤務条件の調査等を行ってきた。その中では、本市が求める人物を確保できるよう努めるとともに、意欲・能力に基づく職員の任用等により組織活力の向上を図った。また、社会情勢に適応した職員の勤務条件の確保等について報告及び勧告を行った。

平成 26 年度決算は、おおむね例年どおりの歳出額であり、その内訳は、職員採用や民間給与実態調査等に係る経費である。不用額が生じた主な理由は、職員採用試験に係る会場使用料等の節減に努めたことである。

今後とも、職員採用試験の在り方をはじめ、本市が求める多様な人物を確保するための様々な方策を検討するとともに、職員の適切な勤務条件の確保のため、より本市にふさわしい給与制度や勤務条件について検討を行い、本市全体の組織活力の向上を目指していく。

2 重点取組の実績

(1) 有為な人材の採用

取組名	実 績
求める人材を獲得するための広報活動の充実	・ホームページでの発信、メールマガジンの発行、大学でのガイダンス実施等を充実させ、市職員の仕事の魅力の発信を強化 ・試験種別に応じて、広報手法を多様化
人物重視による職員採用試験の改革	・人物重視の観点から、面接試験等を充実

(2) 適切な勤務条件の確保

取組名	実 績
給与その他の勤務条件に関する勧告・報告の適切な実施	・民間給与と職員給与の比較に基づき、国等の制度との均衡等を考慮のうえ、給与に関する報告及び勧告を実施 ・給与以外の勤務条件について、ワークライフバランスの考え方等も踏まえた報告を実施

(単位:千円)

3 人事委員会事務局所管の決算額

(1)一般会計

ア 歳出

款項		予算現額 A	支出済額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
総	務 費	28,100	22,317	-	5,783
	人 事 委 員 会 費	28,100	22,317	-	5,783

4 人事委員会事務局主要施策の概要

当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額 (A) (増減額 (B))	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額 (E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	28, 100	28, 100	22, 317	5, 783
(1 人事行政)		28, 100	28, 100	22, 317	5, 783
人 事 行 政	職員採用事務，民間給与実態調査事務など	28, 100	28, 100	22, 317	5, 783